



プロ改組50周年 “挑”

## 「広島」の響き

自分の口から「広島」という言葉が当たり前に出て来る生活を過ごす様になり、「広島」という言葉は広島交響楽団の略称ではありますが、読み方によっては面白い意味を持つと感じています。

- ・広い響き？ 就任以来、取り組んで来たブルックナーにぴったり。広々とした豊かなサウンド。もっと一緒に磨いて行きたいです。
- ・レパートリーが広いという意味でも良い？ そうです。有名曲から、知られざる作品までご用意しています。
- ・広い世代に愛される？ 響き。私は今期から定期演奏会の出演を減らします。その分、多彩なゲストをお招きして素晴らしい化学反応を楽しんで頂けると思っています。

では、私は何をする？ 指揮者になった時からの目標に更に向かいます。子供達へ、音楽を届けることに時間を掛けて行きたいとします。音楽教室、アウトリーチ、こども食堂の音楽版など。

最後に。  
私が尊敬するオーケストラや音楽家はいっぱい、いらっしゃいます。目標でもあります。  
しかし、私たちは「広島」です。  
目をつぶっていても、「あっ、広島だ！」と感じて頂ける様に、もっと努力して濁りのない・豊かな響きを備え、作品の本質を捉えた奇を衒わない広島の響きを目指したいと思います。  
いつも支えて下さる皆様へ感謝の気持ちを込めて、新たな出発への選手宣誓です。

広島交響楽団 音楽総監督  
Tatsuya Shimono

### PROFILE

#### 下野 竜也 Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。  
1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。  
国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ホルドー・アテキヌ管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。  
これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月～2013年3月)、同団首席客演指揮者(2013年4月～2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者(2014年4月～2017年3月)、同団常任首席客演指揮者(2017年4月～2020年3月)を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。  
2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。  
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。  
京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。  
NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com/>

## プロ化して半世紀、「挑」みの一年

音楽評論家 鈴木淳史

2022年は、広島交響楽団がプロ化して50年。次なる半世紀を迎えるにふさわしい、意欲的な年間プログラムが発表された。年間テーマは“挑”。コロナ禍で中止や変更の嵐が吹き荒れた2年間のフラストレーションを晴らしてくれるような、チャレンジングな曲目が並ぶ。

春から夏にかけての定期公演は、大規模なシンフォニーがメインだ。4月は、スラットキンの指揮によるマーラーの交響曲第6番「悲劇的」。その前月の定期公演でインキネンが第5番を取り上げるので、シーズンをまたいでマーラーの交響曲が連続するという趣向もいい。

5月は、下野と広響がとくに力を入れるブルックナーの交響曲。今回は第7番のハース版だ。フィンランド期待の作曲家ライサネンのマリンバ協奏曲「ポータル」(改訂版としては世界初演になる)と組み合わせられるのも、いかにも下野好み。繰り返しが多く、晦渋さもない作風の作曲家だけに、ブルックナーとの相乗効果も面白そうだ。

そして、6月は、ヨゼフ・スクの交響曲第2番「アスラエル」だ。スクはドヴォルザークとマルティヌーを繋ぐチェコの作曲家。この交響曲は、まさにチェコのマーラーなどと言いたくなるような威容を誇る。チェコの音楽に情熱を注ぐオリヴィエリ＝モンローの指揮にも期待したい。さらに、恒例の8月「平和の夕べ」コンサートでも大曲を用意。アルミンク指揮によるマーラーの交響曲第3番だ。

夏から秋にかけては、これまでコロナによって来日できなかった演奏家、あるいは変更を余儀なくされた作品たちが、広島に次々に姿を現す。7月は、ハンブルク・フィルや広響など世界の6団体による委嘱作品、細川俊夫のヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」だ。準・メルクルの指揮、ポール・ホアンのヴァイオリンによる広島初演となる。

2020年3月に中止公演に見舞われたコンビ、アルミンクとブリッテンは10月に登場。クルレンツィスとの共演でも知られる新鋭ヴァイオリニスト、ブリッテンはストラヴィンスキーのヴァイオリン協奏曲を弾く。さらに、フランツ・シュミットの交響曲第2番というアルミンク得意なレパートリーを組み合わせるのも嬉しい。

11月はカンブルランだ。2021年3月に来日できなかったフルート奏者ワルター・アウアーを迎えて尾高尚忠のフルート協奏曲が演奏される。メシアンとシェーンベルクを加えたプログラムは、20世紀作品を滑らかさと広がりをもって聴かせるカンブルランの持ち味が存分に発揮されること請け合い。

今シーズンは、ハンガリー作品を集めた2つのプログラムがある。9月のマダラシュ指揮のコダーイの「ガラント舞曲」やバルトークの「中国の不思議な役人」など、華麗にして鮮烈なオーケストレーションが楽しめる。翌年1月には、バルトークの歌劇「青いげ公の城」を下野指揮による演奏会形式で。男女の機微を極限まで描いたセンセーショナルなオペラが初めて広島で演奏される。

そして、2月は秋山和慶のラフマニノフ特集、3月は鈴木雅明のチャイコフスキーの「悲愴」。この指揮者がこの曲を振るとどのようになるのだろう、といった期待が勝手にふくらんでしまう2つの公演で、シーズンを締めくくる。

音楽総監督の企画力が冴え渡るディスカバリー・シリーズでは、今年も練りに練ったプログラムを用意。全4回にわたって、マルチヌーの交響曲を一曲ずつ取り上げる。各回、それにドヴォルジャークの序曲、そしてジョン・ウィリアムズの協奏曲を組み合わせる。ジョン・ウィリアムズといえば、「スター・ウォーズ」などの映画音楽の巨匠。彼が書いたシリアスで力作ぞろいの協奏曲を、アメリカ生活の経験がある2人のチェコの作曲家の作品のあいだに演奏するという、この絶妙なグラデーション。いつもながら他では聴けぬ不思議な組み合わせだが、下野のマジックが説得力のある充実した時間を作り出してくれるはずだ。

### PROFILE

●



#### 鈴木淳史 (Atsufumi Suzuki・音楽評論家)

1970年山形県生まれ。音楽評論家・エッセイスト。『レコード芸術』『モーストリー・クラシック』『日経新聞』などに寄稿。著書に『クラシック悪魔の辞典』『背徳のクラシック・ガイド』『愛と幻想のクラシック』『占いの力』(以上、洋泉社)『「電車男」は誰なのか』(中央公論新社)『チランで楽しむクラシック』(双葉社)『クラシックは斜めに聴け!』(青弓社)ほか。共著に『村上春樹の100曲』(立東舎)などがある。





## 定期演奏会 Subscription Concert

2022

**4/23** (土) 15:00開演 [14:00開場] 広島文化学園HBGホール **420th**  
Saturday April 23, 2022 Start 15:00[Open 14:00] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

**指揮:レナード・スラットキン**

Conductor : Leonard Slatkin

### プレミアム定期

**マーラー:交響曲第6番イ短調「悲劇的」**

Mahler : Symphony No.6 in A minor “Tragic”

デトロイト交響楽団とフランス国立リヨン管弦楽団などの音楽監督を歴任した世界屈指のマエストロ、レナード・スラットキンが広島交響楽団の定期演奏会に登壇する。プロ化50周年の節目に「挑戦」をテーマに掲げた楽団の意気込みがそのまま形となってシーズンの開幕を飾る、なんとも魅惑的かつ意欲的なプログラムだ。スラットキンのマーラーといえ、かつての手兵セントルイス響との録音が定評だが、クラシックファンにとっても「第6番」は未知の領域だろう。そして、その第6番「悲劇的」を広島の地で奏でることはスラットキンにとっても挑戦であるに違いない。下野が言う「化学反応」に大いなる期待を込めて、その時を待ちたい。

チケット料金(税込) : S:6,300円 A:5,800円 B:5,300円(学生:1,500円)

チケット発売日 : 2022年2月24日(木)

**5/27** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **421st**  
Friday May 27, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

**指揮:下野竜也**

Conductor : Tatsuya Shimono

**マリンバ:小森邦彦**

Marimba : Kunihiro Komori

**トミ・ライサネン:マリンバ協奏曲「ポータル」(改訂版世界初演)**

Tomi Räisänen : Marimba Concerto “Portal”

**ブルックナー:交響曲第7番ホ長調(ハース版)**

Bruckner : Symphony No.7 in E-flat major (Haas Edition)

開幕をスラットキンに託した下野竜也の新たなシーズンがここから始まる。昨年ブルックナーの第1番の予定がコロナ禍の影響から残念ながら流れてしまったが、その間も他の演目で魅せた広響との「音創り」の全てがブルックナー演奏に集約される。広響と歩んできた5年間を経て、今回の「第7番」は満を持しての選曲であろう。「時は満ちた」のだ。そして、前半の演目も下野ならではの。作曲家のトミ・ライサネン(1976-)は、今回のためにわざわざオーケストレーションに改定を加え3管編成とした。新たなスコアの表記にはピンポン玉や鉢植え等、なにやら楽しそう。下野が信頼を寄せる小森邦彦の妙技にも注目したい。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)

チケット発売日 : 2022年3月28日(月)

プロ改組50周年 “挑”

**6/10** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **422nd**  
Friday June 10, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

**指揮:チャールズ・オリヴィエリ=モンロー**

Conductor : Charles Olivieri-Munroe

**オーボエ:フィリップ・トゥーンドゥル**

Oboe : Philippe Tondre

**R.シュトラウス:オーボエ協奏曲ニ長調AV.144**

R.Strauss : Oboe Concerto in D major AV.144

**スク:交響曲第2番ハ短調作品27「アスラエル」**

Suk : Symphony No.2 in C minor Op.27 “Asrael”

昨年、コロナ禍による入国制限から14日間待機の末、無観客による配信で絶賛を博したチャールズ・オリヴィエリ=モンローの指揮と、一方で来日が叶わなかったオーボエのフィリップ・トゥーンドゥルを迎え、プログラムを一新。オーボエ協奏曲には王道を行くりヒャルト・シュトラウスとした。チェコの作曲家ヨゼフ・スクは、敬愛する師、ドヴォルジャークの死を受け、師に捧げる交響曲の創作を始めるも、作曲半ばで妻(ドヴォルジャークの娘)も若くしてこの世を去るという衝撃的な出来事を経て完成、この曲に「アスラエル」(死を司る天使の名)を冠し、全5楽章からなる60分に及ぶ大作を書き上げた。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)

チケット発売日 : 2022年4月11日(月)

**7/8** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **423rd**  
Friday July 8, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

**指揮:準・メルクル**

Conductor : Jun Märkl

**ヴァイオリン:ポール・ホアン**

Violin : Paul Huang

**メンデルスゾーン:序曲「静かな海と楽しい航海」作品27**

Mendelssohn : Meeresstille und glückliche Fahrt Overture Op.27

**細川俊夫:ヴァイオリン協奏曲「ゲネシス(生成)」(共同委嘱・広島初演)**

Toshio Hosokawa : Violin Concerto “Genesis”

**R.シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」作品20**

R.Strauss : Don Juan Op.20

**R.シュトラウス:交響詩「ティル・オイレンシュピーゲルの愉快的悪戯」作品28**

R.Strauss : Till Eulenspiegels lustige Streiche Op.28

準・メルクルとは、2018年の初共演で豪雨災害にみまわれ公演を延期。2021年の再共演にあたってはコロナ禍で来日が叶わなかった。楽団のコンポーザー・イン・レジデンスである細川俊夫の新作ヴァイオリン協奏曲の広島初演を果たすべく、マエストロ推薦のポール・ホアンとともに臨む。ゲネシス(生成)に対比させるかのように後半は破滅を暗示するR.シュトラウスの交響詩2作を選曲した。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)

チケット発売日 : 2022年5月9日(月)







## 定期演奏会 Subscription Concert

**9/30** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **424th**  
Friday September 30, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:ゲルゲイ・マダラシュ ヴィオラ:今井信子  
Conductor : Gergely Madaras Viola : Nobuko Imai

コダーイ(生誕140年):ガランタ舞曲

Kodály : Galántai táncok

バルトーク:ヴィオラ協奏曲Sz.120

Bartók : Viola Concerto in A minor Sz.120

コダーイ:夏の夕べ

Kodály : Nyári este

バルトーク:バレエ「中国の不思議な役人」組曲

Bartók : The Miraculous Mandarin, Suite

アルミンクの後任として、ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督に就任したゲルゲイ・マダラシュ。その才能に惚れ込んだ今井信子をソリストに迎え、お家芸である故郷ハンガリーの音楽を奏でる。コダーイとバルトークの組み合わせは2023年1月での楽団プロ化50周年を記念する下野心髄のプログラムに呼応する。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年8月1日(月)

**10/14** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **425th**  
Friday October 14, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:クリスティアン・アルミンク ヴァイオリン:アイレン・プリッチン\*  
Conductor : Christian Arming Violin : Aylene Pritchett

ヴォーン=ウィリアムズ(生誕150年):揚げひばり\*

Vaughan Williams : The Lark Ascending

ストラヴィンスキー(生誕140年):ヴァイオリン協奏曲ニ長調\*

Stravinsky : Violin Concerto in D major

フランツ・シュミット:交響曲第2番

Franz Schmidt : Symphony No.2

昨年3月に来日が叶わず実現できなかった、アルミンクとプリッチン。装いを新たにそれぞれの国で同時代に活躍した20世紀の作品を集めた。前半は10歳違いのそれぞれ周年となるヴォーン=ウィリアムズとストラヴィンスキーをプリッチンとともに、後半は近年再評価が高まりつつあるフランツ・シュミットの交響曲から、最も演奏頻度の高い第2番をアルミンクの指揮で壮大に響かせる。初演直後から演奏困難を理由に再演機会を失っていた作品だけに、オーケストラにとっては技量が試される演目への挑戦である。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年8月17日(水)

プロ改組50周年 “挑”

**11/19** (土) 15:00開演 [14:00開場] 広島文化学園HBGホール **426th**  
Saturday November 19, 2022 Start 15:00[Open 14:00] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:シルヴァン・カンブルラン フルート:ワルター・アウアー  
Conductor : Sylvain Cambreling Flute : Walter Auer

メシアン(没後30年):忘れられし捧げもの

Messiaen : Les Offrandes oubliées

尾高尚忠:フルート協奏曲作品30b

Hisatada Otaka : Flute Concerto Op.30b

シェーンベルク:交響詩「ペレアスとメリザンド」作品5

Schoenberg : Pelleas und Melisande Op.5

カンブルランは前回の「幻想交響曲」で好評を得ての再登場。ウィーン・フィル、フルート奏者のアウアーは2020年の来日が叶わず、改めての招き。フルート界では定番曲の仲間入りを果たしたと言って良い尾高尚忠の協奏曲を。カンブルランとは得意とするメシアンの周年に合わせた小品と、シェーンベルクの大作交響詩に挑戦する。ピカソの初期の画風を観るとそのずば抜けたデッサン力から絵画の基本においても他の追随を許さないことが解る。シェーンベルクも同様に初期に作曲された本作における甘美なメロディや複雑な和声と大編成を駆使したオーケストレーション等、並々ならない才能を是非とも感じて欲しい。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年9月20日(火)

**2023 1/20** (金) 18:45開演 [17:45開場] 広島文化学園HBGホール **427th**  
Friday January 20, 2023 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:下野竜也 青ひげ:宮本益光  
Conductor : Tatsuya Shimono Bluebeard : Masumitsu Miyamoto

ユディット:石橋栄実 語り:山岸玲音  
Judith : Emi Ishibashi Prologue of the Bard : Leon Yamagishi

## プロ改組50周年記念定期

コダーイ:組曲「ハーリ・ヤーノシュ」作品15

Kodály : Háry János Suite Op.15

バルトーク:歌劇「青ひげ公の城」作品11/Sz.48(演奏会形式 原語上演・字幕入)

Bartók : Bluebeard's Castle Op.11, Sz.48

下野竜也がいつかやってみたかったというオペラを楽団のプロ改組50周年で奏でる。誰も人には踏み込んでならない領域がある。本作では青ひげ公の城の「7つの扉」として描かれているが、「決して開けてはいけない」と言われると、開けてみたくなるのが人間の性である。また、見てはならぬと言う青ひげ本人も実は見て欲しいと願っているのでは? という推察も…聴衆はユディットが抱く疑念から、7つの扉を次々に開けてしまうそのサスペンスに惹きつけられていく。そしてその結末は衝撃的だ。猟奇的な内容からR.シュトラウスの「サロメ」を彷彿させるが、ドビュッシーの影響下にあるバルトークの音楽はどこまでも神秘的で美しく、ドラマティックだ。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年11月21日(月)







## 定期演奏会 Subscription Concert

**2/23** (木・祝) 15:00開演〔14:00開場〕広島文化学園HBGホール **428th**  
Thursday February 23, 2023 Start 15:00[Open 14:00] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:秋山和慶 ピアノ:三浦謙司  
Conductor : Kazuyoshi Akiyama Piano : Kenji Miura

ラフマニノフ(生誕150年):ピアノ協奏曲第3番ニ短調作品30  
Rachmaninoff : Piano Concerto No.3 in D minor Op.30

ラフマニノフ:交響曲第3番イ短調作品44  
Rachmaninoff : Symphony No.3 in A minor Op.44

ラフマニノフの生誕150周年にちなみ、ピアノ協奏曲第3番と交響曲第3番を終身名誉指揮者、秋山和慶の指揮で聴く。ソリストには昨年「音楽の花束」で出演を予定していた三浦謙司を再抜擢。三浦は2019年のロン・ティボー・クレスパン国際コンクールで優勝し、加えて3つの特別賞も獲得した。その時の審査委員長をマルタ・アルゲリッチが務めたことでも大きな注目を集めた。ラフマニノフの人生における最も濃密な時間を旅し、その音楽を味わい尽くすといった点で周年に相応しい選曲といえよう。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年12月23日(金)

**3/4** (土) 15:00開演〔14:00開場〕広島文化学園HBGホール **429th**  
Saturday March 4, 2023 Start 15:00[Open 14:00] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:鈴木雅明  
Conductor : Masaaki Suzuki

モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527序曲  
Mozart : Don Giovanni K.527 Overture

モーツァルト:交響曲第29番イ長調K.201(186a)  
Mozart : Symphony No.29 in A major K.201 (186a)

チャイコフスキー:交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」  
Tchaikovsky : Symphony No.6 in B minor Op.74 "Pathétique"

モーツァルトとチャイコフスキーによる、一見よくありそうな名曲プログラムだが、これをパッハ・コレギウム・ジャパン率いるバロックの名手、鈴木雅明が指揮するというだけで、それはもう平凡とは言えなくなってしまう。広響を指揮するのも初めてだが、特にロマン派を代表するチャイコフスキーの悲愴交響曲へのアプローチはいかなるものか・・・下野竜也が年度の最後に仕掛けた化学反応は想像を超えよう。そしてこれは鈴木雅明にとっても一つの「挑戦」にほかならない。

チケット料金(税込) : S:5,300円 A:4,800円 B:4,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2023年1月6日(金)

## 2022「平和の夕べ」コンサート プロ改組50周年「挑」

An Evening of Peace Concert

ひろしま国際平和文化祭連携イベント

**2022**  
**8/5** (金) 18:45開演〔17:45開場〕広島文化学園HBGホール  
Friday August 5, 2022 Start 18:45[Open 17:45] Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

指揮:クリスティアン・アルミンク メゾソプラノ:藤村実穂子  
Conductor : Christian Arming Mezzosoprano : Mihoko Fujimura

合唱:エリザベト音楽大学合唱団・ひろしまオペラルネッサンス合唱団・  
東京混声合唱団・NHK広島児童合唱団  
Chorus : Elisabeth University of Music Choir, Hiroshima Opera Renaissance Chorus,  
The Philharmonic Chorus of Tokyo, NHK Hiroshima Children Chorus

マーラー:交響曲第3番ニ短調  
Mahler : Symphony No.3 in D minor

### 夏のシンフォニー＜平和への想い、未来へ＞

楽団の首席客演指揮者を務めるクリスティアン・アルミンクは「平和の夕べ」に3度目の出演となるが、過去2回ともマーラーを取り上げている。マーラーの交響曲には常に「生と死」の葛藤が内包されているが故であろう。そして今回演奏する「第3番」は夏の交響曲として季節にも寄り添うが、各楽章にもそれぞれ標題が付けられ、夏の到来(行進)から野の花々や動物たちといった自然への賛美、「夜の歌」を藤村実穂子が、「天使の歌」を合唱が歌い継ぎ、最後はこの世界を包み込む壮大なる「愛」で締めくくる。過去の忌まわしい出来事から目を背けることなく、復興した美しい広島と、未来永劫「平和」を願う、想いの詰まった演奏に全てを委ねて聴こうではないか。

チケット料金(税込) : S:5,000円 A:4,000円(学生:2,000円)  
チケット発売日 : 2022年6月6日(月)







## ディスカバリー・シリーズ 『新世界より』

Discovery Series

～新世界に渡った二人のチェコ人作曲家と  
ハリウッドの申し子～

指揮：下野竜也 Conductor：Tatsuya Shimono

チェコを代表する作曲家ドヴォルジャークとマルチヌーの二人は共に、時期こそ違えども、新世界に渡った。偉大な先輩は、音楽教育者として招かれ、多くの傑作を残し、愛する故郷に帰国し天寿を全うしたが、才気溢れる後進は身の危険を回避するために渡った。その才能故に、作品を世に問う事は叶うものの、そこには第二次世界大戦という影がちらつく。故郷を蹂躪する勢力に怒り、その思いを多くの曲に託した。しかし、彼は終生、故郷の土を踏む事は叶わなかった。望郷への思いを感じる響きとコスモポリタンならではのモダンな響きを持つマルチヌーの傑作と言える交響曲と偉大な先人の紡いだ故国チェコの響きを並べて二人の天才を、音楽を、改めて発見して欲しい。

そして、彼らが居た新世界の一つの文化の象徴であるハリウッドの申し子のジョン・ウィリアムズの違う顔を聴いて欲しいという思いから彼のコンチェルト集と共に。

これまで有名曲から秘曲まで取り組んで来た広響と私の新しい挑戦をお聴きください。

チケット料金(税込)：  
S:5,300円 A:4,300円 B:3,300円(学生:1,000円)

©Naoya Yamaguchi



2022

**6/17** (金) 18:45開演 [17:45開場] JMSアステールプラザ 大ホール  
Friday June 17, 2022 Start 18:45[Open 17:45] JMS Aster Plaza Hall

フルート：森川公美

Flute：Kumi Morikawa

ドヴォルジャーク：序曲「自然の中で」作品91

Dvořák：In Nature's Realm Overture Op.91

ジョン・ウィリアムズ：フルート協奏曲

John Williams：Concerto for Flute and Orchestra

マルチヌー：交響曲第1番H.289

Martinů：Symphony No.1 H.289

チケット発売日：2022年4月18日(月)

プロ改組50周年 “挑”

**9/16** (金) 18:45開演 [17:45開場] JMSアステールプラザ 大ホール  
Friday September 16, 2022 Start 18:45[Open 17:45] JMS Aster Plaza Hall

トランペット：亀島克敏

Trumpet：Katsutoshi Kameshima

ドヴォルジャーク：序曲「謝肉祭」作品92

Dvořák：Carnival Overture Op.92

ジョン・ウィリアムズ：トランペット協奏曲

John Williams：Concerto for Trumpet and Orchestra

マルチヌー：交響曲第2番H.295

Martinů：Symphony No.2 H.295

チケット発売日：2022年7月19日(火)

**12/15** (木) 18:45開演 [17:45開場] JMSアステールプラザ 大ホール  
Thursday December 15, 2022 Start 18:45[Open 17:45] JMS Aster Plaza Hall

オーボエ：庭瀬幸生

Oboe：Miyuki Niwase

ドヴォルジャーク：序曲「オテロ」作品93

Dvořák：Othello Overture Op.93

ジョン・ウィリアムズ：オーボエと弦楽合奏のための協奏曲イ短調

John Williams：Concerto for Oboe and Strings in A minor

マルチヌー：交響曲第3番H.299

Martinů：Symphony No.3 H.299

チケット発売日：2022年10月17日(月)

2023

**2/17** (金) 18:45開演 [17:45開場] JMSアステールプラザ 大ホール  
Friday February 17, 2023 Start 18:45[Open 17:45] JMS Aster Plaza Hall

チューバ：古本大志

Tuba：Taishi Furumoto

ドヴォルジャーク：劇的序曲「フス教徒」作品67

Dvořák：Hussite Overture Op.67

ジョン・ウィリアムズ：チューバ協奏曲

John Williams：Concerto for Tuba and Orchestra

マルチヌー：交響曲第4番H.305

Martinů：Symphony No.4 H.305

チケット発売日：2022年12月19日(月)







## 音楽の花束〈春・秋・冬〉 Bouquet of Music ～広響音楽コンサート～『華麗なる指揮者&ソリストとの饗演』

「名曲」—それは、ミューズ(音楽の女神)の世界に咲く多彩な花々。名曲の数々を花束にしてお届けする年3回のシリーズ。2022年度は女性指揮者とソリストが集ってお贈りする、まさにミューズの世界。モーツァルトの作品の中でも人気の高い3つのディヴェルティメントとヴァイオリン協奏曲の3～5番。後半はマエストロがそれぞれ選んだ管弦楽作品による個性溢れる華やかな“饗演”です。

チケット料金(税込)：S:4,300円(ペア:6,500円) A:3,300円 B:2,300円(学生:1,500円)

2022

**5/14** (土) 15:00開演 [14:00開場] 広島国際会議場フェニックスホール  
Saturday May 14, 2022 Start 15:00 [Open 14:00] Phoenix Hall Hiroshima

春

指揮:松尾葉子 ヴァイオリン:小林美恵  
Conductor: Yoko Matsuo Violin: Mie Kobayashi

モーツァルト:ディヴェルティメントニ長調K.136

Mozart: Divertimento in D major K.136

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K.216

Mozart: Violin Concerto No.3 in G major K.216

ラヴェル:ラ・ヴァルス

Ravel: La valse

ドビュッシー:交響詩「海」—3つの交響的スケッチ

Debussy: La mer, trois esquisses symphoniques pour orchestre

「音楽する喜びとは、生きているということです」と語る小林美恵。1990年ロン＝ティボー国際コンクール・ヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝し脚光をあびたその実力に益々しなやかさを加え活躍しています。1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝という壮挙により、時代の寵児としてキャリアを開花させた松尾葉子。熟練を深めた流麗なタクトでフランス音楽の神髄に迫ります。

チケット発売日: 2022年3月17日(木)

**11/3** (木・祝) 15:00開演 [14:00開場] 広島国際会議場フェニックスホール  
Thursday November 3, 2022 Start 15:00 [Open 14:00] Phoenix Hall Hiroshima

秋

指揮:沖澤のどか ヴァイオリン:玉井菜採  
Conductor: Nodoka Okisawa Violin: Natsumi Tamai

モーツァルト:ディヴェルティメント変ロ長調K.137

Mozart: Divertimento in B major K.137

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第4番ニ長調K.218

Mozart: Violin Concerto No.4 in D major K.218

ブラームス:交響曲第2番ニ長調作品73

Brahms: Symphony No.2 in D major Op.73

1992年のプラハの春国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門で第1位のほか、エリザベート王妃国際音楽コンクール、シベリウス国際ヴァイオリン・コンクールなど多くの国際大会で入賞するなど、その音楽性の幅の広さで注目される玉井菜採。2018年東京国際音楽コンクール(指揮)、そして広響初登壇でその実力をみせた2019年にブザンソン国際指揮者コンクールと続けて優勝し、俊英として注目を集める沖澤のどか。ベルリンを拠点にさらに磨きをかけ洗練された感性でブラームス、至福の2番に挑みます。

チケット発売日: 2022年5月16日(月)

プロ改組50周年 “挑”

2023

**1/29** (日) 15:00開演 [14:00開場] 広島国際会議場フェニックスホール  
Sunday January 29, 2023 Start 15:00 [Open 14:00] Phoenix Hall Hiroshima

冬

指揮:三ツ橋敬子 ヴァイオリン:川田知子 メゾソプラノ:池田香織\*  
Conductor: Keiko Mitsuhashi Violin: Tomoko Kawada Mezzosoprano: Kaori Ikeda

モーツァルト:ディヴェルティメントへ長調K.138

Mozart: Divertimento in F major K.138

モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第5番イ長調K.219

Mozart: Violin Concerto No.5 in A major K.219

ファリャ:バレエ音楽「三角帽子」\*

Manuel de Falla: Tha Thee-Cornered Hat

東京藝術大学を首席で卒業し、1991年第5回シュボア国際コンクール優勝の川田知子。ソリストとして国内外で活躍の他、コンサートミストレス、室内楽、後進の指導など多方面で活躍しています。メゾソプラノの池田香織はワーグナー歌いとしての圧倒的な存在感と深遠な表現でファンを魅了。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで史上最年少、女性指揮者として初の第1位。2010年アルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールでも女性初2位とその実力を認められ、サイトウ・キネン・フェスティバル松本では小澤征爾のアシスタントとして研鑽をつんだ三ツ橋敬子。情熱のタクトで選んだのはスペイン、ファリャの代表曲。

チケット発売日: 2022年11月4日(金)



花とみどりで、  
人と人をつなぐ日比谷花壇

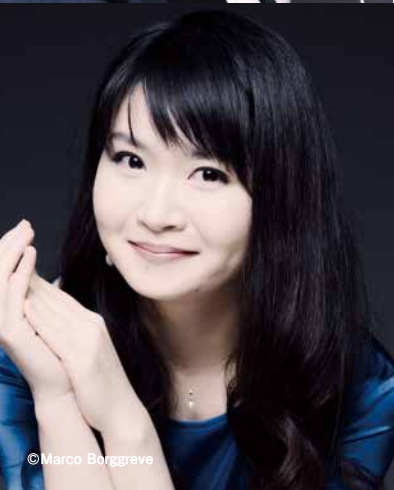
日比谷花壇は、  
お花と「ともに」あり続け、  
お客様と「ともに」あり続けます

感動はいつも、花とともに

HIBIYA-KADAN

日比谷花壇 中四国エリア





## 地域定期演奏会 Subscription Concert In Hatsukaichi, Shimane,

各地の音響の優れたコンサートホールから毎年おくりしている地域定期演奏会。  
モーツァルトの交響曲と共に、呉、東広島、廿日市、福山ではロシア管弦楽作品を取り上げ、島根では昨年  
に続きフランス音楽をテーマにおくりします。それぞれのホールの響きの個性とともに楽しみください。

### 第25回廿日市定期演奏会 2022

**4/17** (日) 15:00開演 [14:15開場] はつかいち文化ホール ウッドワンさくらびあ  
Sunday April 17, 2022 Start 15:00[Open 14:15] Hatsukaichi Cultural Hall WOODONE Sakurapia

指揮: 飯森範親

Conductor : Norichika Iimori

モーツァルト: 歌劇「後宮からの誘拐」K.384序曲

Mozart : Die Entführung aus dem Serail K.384 Overture

モーツァルト: 交響曲第35番ニ長調K.385「ハフナー」

Mozart : Symphony No.35 in D major K.385 "Haffner"

ムソルグスキー(ラヴェル編): 組曲「展覧会の絵」

Mussorgsky (Arr. Ravel) : Pictures at an Exhibition

飯森範親の颯爽～友情に捧げた音の絵画展

1995年から2002年まで広響正指揮者を務め、現在は山形交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京交響楽団など様々なオーケストラのポストを務めながら精力的に活躍する飯森範親。モーツァルトは、ウィーンでセンセーションを巻き起こした「後宮からの誘拐」と友人であったハフナー家のためにセレナードから編曲した35番を。ムソルグスキーが亡くなった友人ハルトマンの遺作展を訪れ、その絵画から得た印象に触発されて作曲した「展覧会の絵」をラヴェルによる細密かつ豪華な編曲でおくりします。

チケット料金(税込) : S:3,800円 A:3,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年2月13日(日) / 広響事務局 2022年2月14日(月)  
お問い合わせ : ウッドワンさくらびあ事務局 0829-20-0111

### 第29回島根定期演奏会

**5/22** (日) 14:30開演 [13:45開場] 安来市総合文化ホール アルテピア  
Sunday May 22, 2022 Start 14:30[Open 13:45] Yasugi General Culture Hall ARTEPIA

指揮: 沼尻竜典

ピアノ: 萩原麻未

Conductor : Ryusuke Numajiri Piano : Mami Hagiwara

モーツァルト: 交響曲第31番ニ長調K.297「パリ」

Mozart : Symphony No.3 in D major K.297 "Paris"

ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調

Ravel : Piano Concerto in G major

ラヴェル: バレエ音楽「マ・メール・ロワ」

Ravel : Ma Mère l'Oye

沼尻竜典の可憐～パリから妖精の園へ

国内外でオーケストラやオペラ制作に多数かわり、その明晰な解釈と的確なタクトで楽壇を牽引する沼尻竜典。ワーグナーのような荘厳な音楽でのリーダーシップはもちろん、モーツァルトや佳作で聴かせる洒脱さと愛らしさも絶品です。パリの演奏団体からの注文で書かれたことで「パリ」の愛称をもつ31番。子供好きだったラヴェルがマザーグースの物語を題材にしたピアノ連弾曲として創作した「マ・メール・ロワ」。後に「バレエのため曲も追加された管弦楽版は、比較的小ぶりの編成にもかかわらず、ラヴェルの管弦楽法の匠が味わえる逸品。広響とも共演を重ねる萩原麻未とのピアノ協奏曲にもご期待ください。

チケット料金(税込) : 一般:3,800円 学生:1,500円  
チケット発売日 : 2022年3月12日(土) / 広響事務局 2022年3月14日(月)  
お問い合わせ : 安来市総合文化ホール アルテピア 0854-21-0101

Kure, Higashihiroshima

プロ改組50周年 “挑”

### 第32回呉定期演奏会

**7/27** (水) 18:30開演 [17:45開場] 呉信用金庫ホール  
Wednesday July 27, 2022 Start 18:30[Open 17:45] The Kureshinkinbank Hall

指揮: クリスティアン・アルミンク

Conductor : Christian Arming

モーツァルト: アダージョとフーガハ短調K.546

Mozart : Adagio and Fugue in C minor K.546

モーツァルト: 交響曲第38番ニ長調K.504「プラハ」

Mozart : Symphony No.38 in D major K.504 "Prague"

プロコフィエフ: バレエ「ロメオとジュリエット」組曲より抜粋

Prokofiev : Romeo and Juliet Excerpts

アルミンクの祈り～切なく儚い愛の昇天

2017年から首席客演指揮者として楽団と良好な関係を重ねているクリスティアン・アルミンク。ウィーンで生まれ育ったエレガントなセンスと品格でファンを魅了しています。モーツァルトを熱狂的に受け入れたプラハで初演されたことから「プラハ」の愛称で知られる第38番。その翌年に書かれたとされるアダージョとフーガはモーツァルト後期の荘厳さと技巧が発揮されています。誰もが知る有名なシェイクスピアの悲恋劇を題材にプロコフィエフが作曲した「ロメオとジュリエット」は印象的な音楽にあふれた作品。演奏会用に管弦楽組曲として編まれたものの中からアルミンクのセレクションでおくりします。

チケット料金(税込) : S:3,800円 A:3,300円 B:2,800円 学生:1,000円  
チケット発売日 : 2022年5月7日(土) / 広響事務局 2022年5月9日(月)  
お問い合わせ : 呉市文化振興財団(呉信用金庫ホール内) 0823-25-7878

### 第3回東広島定期演奏会

**11/13** (日) 15:00開演 [14:15開場] 東広島芸術文化ホール くらら  
Sunday November 13, 2022 Start 15:00[Open 14:15] Higashihiroshima Arts & Culture Hall Kurara

指揮: 汐澤安彦

Conductor : Yasuhiko Shiozawa

モーツァルト: 交響曲第36番ハ長調K.425「リンツ」

Mozart : Symphony No.36 in C major K.425 "Linz"

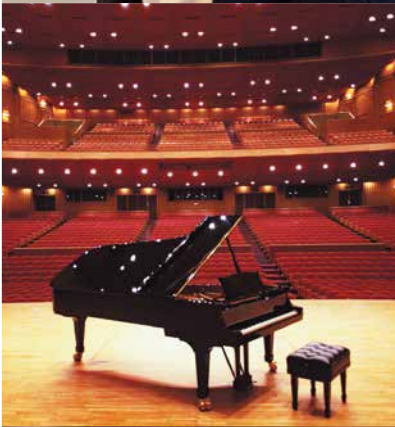
リムスキー=コルサコフ: 交響組曲「シェエラザード」作品35

Rimsky-Korsakov : Scheherazade Op.35

汐澤安彦の夢幻～千夜一夜を駆ける浪漫

音楽界の重鎮として多くの後進を育んできた汐澤安彦。80歳を超えてますますストイックに音楽と向き合い、情熱的なタクトで円熟の音楽を紡ぐその姿勢にあらためて評価が高まっています。モーツァルトがコンスタンツェと結婚した翌年にリンツ滞在中に書いた36番は、わずか4日で書き上げたとは思えない傑作。アラビアンナイトの物語をテーマにしたリムスキー=コルサコフの代表作シェエラザードはその幻想的な世界観を管弦楽法の大家として面目躍如の圧倒的なオーケストレーションで仕立てた作品。遠い異国の世界に誘われます。

チケット料金(税込) : S:3,800円 A:3,300円(学生:1,500円)  
チケット発売日 : 2022年7月15日(金)  
お問い合わせ : くららチケットセンター 082-426-5990







## 地域定期演奏会 Subscription Concert In Fukuyama

### 第29回福山定期演奏会

2023

**2/5** (日) 15:00開演 [14:15開場] ふくやま芸術文化ホール リーデンローズ  
Sunday February 5, 2023 Start 15:00[Open 14:15] Fukuyama Hall of Art & Culture -Reed & Rose

指揮:角田鋼亮

Conductor : Kosuke Tsunoda

和太鼓:林英哲

Japanese Drum : Eitetsu Hayashi

モーツァルト:交響曲第41番ハ長調K.551「ジュピター」

Mozart : Symphony No.41 in C major K.551 "Jupiter"

チャイコフスキー:イタリア奇想曲作品45

Tchaikovsky : Capriccio Italien Op.45

松下功:和太鼓協奏曲「飛天遊」

Isao Matsushita : Japanese Drum Concerto "HI-TEN-YU" (Fly Haeven Play)

### 角田鋼亮の挑戦～至高のモーツァルトと魂の飛天

各地のオーケストラのポストでの経験から、ますます活躍の場を広げる角田鋼亮。モーツァルトが交響曲というジャンルを至高の芸術へと押し上げ、後に神話の最高神の名が冠せられることになった第41番に挑みます。和太鼓を世界的に広めた第一人者の林英哲。広島出身で2022年に古希を迎える林英哲を祝っておくりするのは、林と同世代である故・松下功作曲の「飛天遊」。作曲者は、太鼓奏者が鋭い感性と直観力で「天に飛び、遊ぶ」ことを意図しています。飛天遊と同じく静から動へと発展し、熱狂のタランテラへと飛翔するイタリア奇想曲とともに楽しみください。

チケット料金(税込): S:4,300円 A:3,800円 B:3,300円(学生:1,500円)

チケット発売日: 2022年11月12日(土) / 広響事務局 2022年11月14日(月)

お問い合わせ: ふくやま芸術文化財団 084-928-1800



# さあ、 新しい自分に 会いに行こう。

聴く人も、奏でる人も、歌う人も。

すこし深く、その先へ。

これまでにない「自分」と出会える、

これまでにない「音楽」の体験をあなたにも。

ヤマハミュージック 広島店

〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL:082-244-3666(代) <https://www.yamahamusic.jp/shop/hiroshima.html>



## チケットのご案内 Ticket Information

プロ改組50周年 “挑”



## チケットの購入方法

広響主催公演(定期演奏会、「平和のタベ」コンサート、ディスカバリー・シリーズ、広響名曲コンサート)のチケットは下記の方法でご購入いただけます。地域定期演奏会、その他の公演についてはお問い合わせください。

### 広響事務局

お電話 ▶ 広響事務局 (TEL 082-532-3080) [受付時間 平日9:00~17:20]

インターネット ▶ 広響webチケット <http://hirokkyo.or.jp/concert/ticket>

\* 広響コンサート会員、中国新聞ちゅーピークラブ、マロニエカード(ひろしま美術館)、JAF会員、ヤマハミュージックメンバーズプレミアム会員はチケット割引があります。詳しくは広響事務局へお問い合わせください。

〈広響webチケット〉



### プレイガイド

ローソンチケット、チケットぴあ、JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ(「平和のタベ」コンサート、ディスカバリー・シリーズ、広響名曲コンサート)、広響事務局にて販売。

※学生券は小学生以上25歳以下の学生が対象。広響事務局のみ取扱い。 ※お申し込み後のチケットのキャンセル、お席の変更はお受けできません。  
※やむを得ぬ事情により出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。